

最新式 ゆめ・やりたいこと実現BOX

取扱説明書 YU-2020[Ⓧ]

＜やりたいこと発見チャート付＞



絵：Po-Zkk 高橋 茉奈美

YU-2020[Ⓧ] 商品案内

- ゆめ・やりたいこと実現BOX (YU-2020 [Ⓧ]) は、みんなのゆめ、やりたいことを実現することができる最新型の高機能ボックスです。
- BOX に入ったみんなの願いは実現し、地域での学びや自己実現、生涯学習を行うことができます。
- ゆめ・やりたいこと実現BOX は、みんなのこころの中に必ずある発想の箱です。主体的な参加と学びの場を創り出せます。

はじめに

ご使用方法

- ・ゆめやりたいことを集める、そして、カタチにする

BOX をうまく使うために

故障かな？と思ったら

ユーザーの声

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

“取り扱い説明書はバリアフリー版ではありません”

- ・お使いになる前に必ずみんなで読み合わせを行い、各地域・団体の創意工夫のもとお使いください。
- ・お読みになったあとは、ご使用になる方（豊かな地域生活を創りたい人、行政職員、福祉事業者、当事者、家族など）が、いつでも取りだせる場所に大切に保管してください。

はじめに

こころがわくわくする時間。

あたらしい自分の発見。

ひまじゃないお休みの日。

何もしなくてもいいホッとする居場所。

仲間との楽しい思い出づくり。

「いいなあ」と思うそんな学びを実現しよう！！

このBOXをみんなで上手に使って人生を楽しみましょう！！

ご使用方法

「ゆめやりたいことを集める、そしてカタチにする」

1. BOXにアイテム（やりたいこと）を入れる

購入時は、BOXには何も入っていない空っぽの状態です。自由な発想でみんなのやりたい事を出し合い詰め込みましょう。

こうでなければならない等の型にはまったものやありきたりものではない発想などもどんどん入れましょう。

入れたいものは、入れる人たちの自由です。

2. 集めたアイテム（やりたいこと）のチェックと分類を始める

取り組みの方向性を決めるために、「体を動かす系・作ったり描いたり系・音楽系・勉強系・おしゃべり系など」に集めたアイテムを分類することで活動の方向性を整理することができます。

3. 人材の発掘アンテナを取り付ける * アンテナはご自身でご用意ください

自分一人で計画・指導するのではなく、既に活動している団体などに声かけし、自分の得意な分野と一緒にチャレンジしてもらいましょう。地域には生涯学習のサポーターがいっぱい!!人材バンクに登録してもらうことも有効です。人のつながりを大切に、人的資源の発掘と活用に心がけましょう。また、アンテナの増設は大切です。多くのアンテナを増設しカスタマイズしましょう。

ご使用のヒント

みんなで取り組むことが、続けていくための秘訣です。

ご使用例 (よかった講座)

タイトル	内容
みんなで俳句を楽しもう	初年度から継続している人気の講座。 講師と参加者がともに学び・創る関係がうまく築かれ、毎回素晴らしい句が詠まれている。
筆をつかって表現しよう	絵手紙・デニムアート・のれん作り・大きな筆を使って字を書くなど、自己表現ができ、「楽しかった!」「うまく書けた!」と笑顔があふれた。
ヨガ・ストレッチ	運動不足気味・気分をリフレッシュしたい方におすすめ。よく眠れるようになったという人も。
スマホで楽しく写真を撮ろう	当事者からの「上手に写真を撮りたい」、ひきこもり経験者の「講師をしてみたい」という願いがちょうどマッチし、講座が実現! 素敵な写真が撮影できた。
段ボールアート	「参加者が熱中して作品を作ってほしい」という講師の熱い願いとサポートにより、世界に一つしかない作品が完成!

番外編:バリア島の楽しさを味わおう(バリア島へ行ったことのある当事者が、講師とともに講座を進行。「自分が役に立つことがあればまた話したい。緊張したけど楽しかった。」と感想があった。また講師は、「一緒に講師をしてきて嬉しかった。」と話された。)

(参考)

防災グッズ作り、二胡演奏会、絵手紙、俳句に挑戦、寄せ植え、ランニング、動画を作って配信しよう、新聞紙アート、ヨガ、フラワーアレンジ、ロケットストーブ、マヤ文明、登山、書道でアート、カラオケ、マジック、ちぎり絵、ジャンベを楽しもう、マカロニアート、手洗い、チェンバリンハーブの音色を楽しもう、ウォーキング、段ボールアート、ガーゼマフラー、粉河街歩き、パソコン講座、ちぎり絵、コーヒーの淹れ方講座、スマホで写真講座など

BOXをうまく使うために

- 「こんなことしたいなあ」と思ったら、まず周りの人に「こんなことしたいんだけどどうかな?」と声をかけましょう。ふたり集まれば始めることができます。そして、一緒に取り組む仲間をひとりふたりと増やしていきましょう。
- 活動を続けていくには、行政(生涯学習課)との連携を図っていくことも大切です。
- 意見が出にくくてボックスがいっぱいにならない場合は、やりたいこと発見チャート(ゆめ・やりバージョン)を参考にしてみましょう。
- 身近な人たちに『こんなことができますアンケート』をお願いして、講師の発掘をしましょう。そして、「こんなことしたい!」という希望があれば、つなげて講座を実現しましょう。
- 希望がすべてかなうわけではありませんが、みんなで話し合う場づくりが何より大切です。

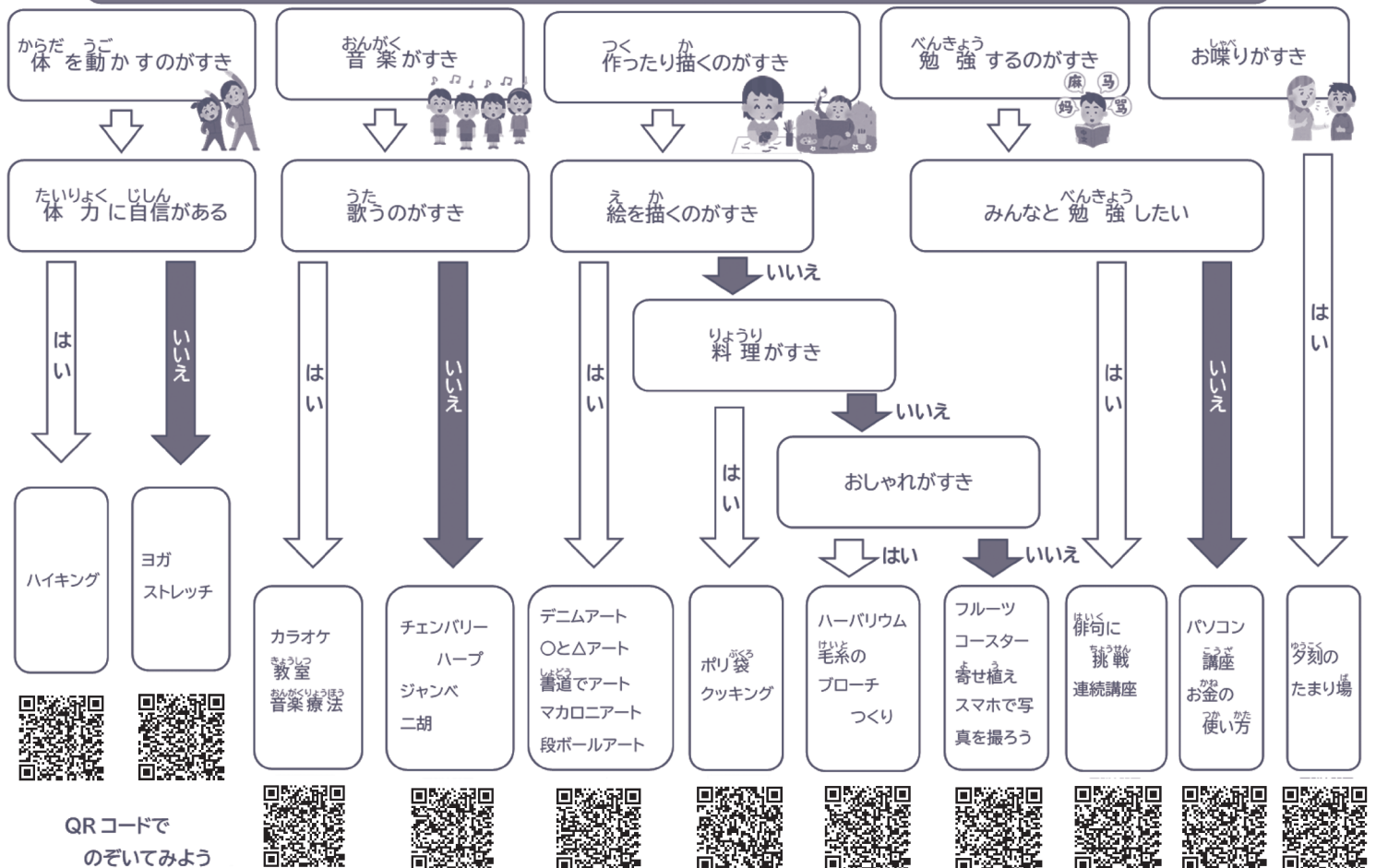
故障かな？と思ったら

ご使用中に異常が生じたときは、修理を依頼する前に願いの原点に立ち返り次の点をお調べください。

現象	原因	処置方法
BOXの中身に 興味が示されない	参加者が集まらない 当事者の声（想い願い 希望）が拾えていない	当事者の願いに本当に沿っているのか、 日時の設定は企画者の都合で設定せず、 休日や 17 時以降の開催をおこなう。 ひとりでも参加者がいれば大成功！！
BOXの中身が なくなった	やりたいことが出て こない	興味や関心をひく仕掛けが必要。
BOXの中身が 活用できない	資金が底をついた（補助 金や委託費がなくなっ た）	実績をもとに数値化し、受講者の豊かな 姿を伝え、必要性を国、県、市町村、地 域に広く訴えかける。

付 属＜やりたいこと発見チャート（ゆめ・やりバージョン）＞

あなたにおすすめの講座はこれだ！！



4. みんなで計画

計画は一人で考えるのではなく、みんなでどんなこと（講座や交流の場など）を取り組みたいか話し合しましょう。当事者の意見を一番大切に「教える」ではなく「一緒に」計画しましょう。日程や実施場所はもちろん経費や参加費、補助金申請、減免措置についても考えましょう。

5. やってみよう

「ある程度人数が集まらないと」と考えるのではなく、参加者がひとりでもOK。実施してみましょう。まずはやってみることが大切です。

6. 仲間の輪を広げよう

楽しい雰囲気をもみんなに伝えましょう。口コミも大切な活動です。「楽しそう」という思いは必ずみんなに伝わります。

楽しい事はおかわり自由です。

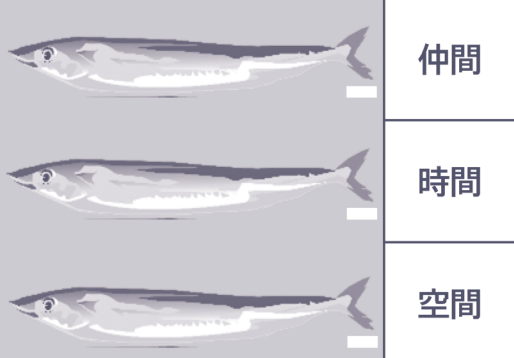
広報誌作成や SNS を活用した情報発信も大きな力になります。

7. 計画ややったことをBOXに収納

計画したことや取り組んだ事は再びBOXに収納し、次のステップにつなげましょう。それが今後の資源や財産になります。

ご 注 意

<サンマとは…>



サンマを大切にしましょう

- ・ひとりでは言えないことや難しいことも、仲間と一緒になら出し合えます。
- ・「ちょっと聞いて」「あのね」のつぶやきを大切に集めよう。ゆっくり、ゆったりとした時間の中でやりたい事は出てきます。グチや困りごと、嬉しいことを共有しながらやりたいことを出しましょう。
- ・みんなが集まりやすい場所(交通面や利用料などを考慮した空間)で話し合しましょう。和室も落ち着きます。

※サンマ（三つの間）を大切にし、出し合ったものをBOXに入れていきます

ユーザーの声

本人の声

- 職場と家の往復の毎日だったけど、行く場所が増えた。
- 自分がやりたかったことを「したい！」って言ったら講座をすることになって、みんなでできてうれしかった。
- あの場所に行ったらだれかいるし、そこに行けば遊べるし話せるのがいい。
- みんなと話して、コミュニケーションがとれるし、仕事とか、年齢とか違う人たちと会えるのがうれしい。
- いろいろな物を講座で作るのは楽しいし、自分の好きな物が作れてうれしい。
- 『バリ島の楽しさを味わおう講座』の先生に「ぼく、バリ島に何回か行ったことがある」って伝えたら、「じゃあ助手をしてくれる？」と頼まれて、経験したことを話せたことがうれしかった。緊張せずに話せたし、みんなしっかり聞いてくれて楽しんでいたのがよかった。自分が役に立つことがあればまた話したい。

家族の声

- 精神的にしんどく不安定で難しい時期があったが、夕刻のたまり場に参加させてもらうようになって、情緒が安定してきたように思う。
- 作業所に通所し始めてから、作業所以外の居場所がなかったけど、居場所ができて楽しそうで、ありがたい。
- 夕刻のたまり場に行く日・行かない日を自分で選んで行っています。親としては、「選ぶ」本人の事を担当者が褒めてくれることがうれしい。
- 講座への参加で、家族や友だち同士でもできないものをみんなと一緒にできることが親としてもうれしいし助かっている。

講師の声

- 人には秘めた才能があると感じる。それを活かしていければいいと思う。講座をきっかけに、いろいろな才能が目覚めたらいいなあと思う。
- 教えるつもりで来たけれど、丁寧に取り組んでいる姿を見て、逆に教えられた。
- 関わり合って一緒に講座ができることはすばらしい。

関係者の声

- 作業所とかとは違うゆっくりした時間があって、みんなすごく楽しそうだしくつろいでいる姿を見ると、そんな場所があちこちにできたらいいと思う。
- 見学に来たら、すごく居心地がよくて自分もまた来たいと思った。
- 『耕すと芽が出る』継続的な活動が大切だと思います。

文部科学省 障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究

社会福祉法人一麦会(麦の郷)

ゆめ・やりたいこと実現センター

〒649-6531 和歌山県紀の川市粉河 853

お客さまご相談窓口 TEL/FAX 0736-60-8233

ホームページ <http://yume-yaritaikoto.jpn.org/>

ホームページ

ゆめやり動画

